

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	3年	場所	学習室1・2
テーマ	グローバル化と賃金・雇用				
講師	神戸大学大学院経済学研究科教授 中西 訓嗣				
<p>講義内容</p> <p>自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）の締結などを通じた貿易自由化や多国籍企業の活動による国際生産ネットワークの拡大・深化などの「経済のグローバル化」と呼ばれる現象は、国内の賃金構造や雇用の在り方にどのような影響を及ぼしているのでしょうか。しばしば、貿易自由化は所得格差を拡大させ、二極化を推し進めるなどと議論されることがあります。また、自国企業による海外進出は、国内における産業空洞化を招いて失業を増加させるといった懸念が表明されることもあります。</p> <p>本講義では、国際経済学の基本的な分析枠組みを紹介しながら、上記のようなグローバル化と賃金・雇用構造に関わる問題がどのように取り扱われてきたのか、経済学がこうした問題について何をどのように解明してきたのかについてお話しします。短い時間ではありますが、おおむね以下のような論点を取り上げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国際経済取引の現状 (2) グローバリゼーションの光と影 (3) グローバリゼーションと賃金・雇用への懸念 (4) 貿易自由化は人々の暮らしを豊かにするか？（「比較優位」と「貿易利益」の基礎） (5) 貿易自由化は格差を生むか？（「生産」と「所得分配」の基礎） (6) 熟練・非熟練労働と賃金格差（中間層減少と「二極化」） (7) 直接投資・産業空洞化と雇用減少 (8) オフショア・アウトソーシングと賃金格差 (9) 外国人労働受け入れに関わる経済的問題 					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>経済学は、それ自体が「答え」を示すものというよりも、むしろ「答え」を導き出すための首尾一貫した「方法」を提供するものです。「経済学的に考える」とはどういうことなのかを理解していただければと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	3 年	場所	学習室 1・2
テーマ	ミャンマー難民の移動と定住—ドキュメンタリー映画を通して				
講師	京都大学東南アジア地域研究所・連携研究員、映画監督 直井里予				
<p>講義内容</p> <p>東南アジアは、多様な民族、宗教、文化で構成されています。その多様性を共存させつつ、民族や宗教の抗争や貧困など、多くの問題も抱えています。このような多様性の中で、人々はどのように社会で関係性を形成し、維持しているのでしょうか。また、人々の日々の生活を支える地域の諸問題を解決するには、どうすればよいのでしょうか。</p> <p>本講義では、難民キャンプで生まれ育ったミャンマー難民の少年とその家族の生きざまと心の軌跡を 10 年間に渡り描いたドキュメンタリー映画『夢の終わり—OUR LIFE 2』を通して、ミャンマー難民は、難民キャンプの変化とどのように関わりながら生き、第三国定住地でどのような社会関係を形成しているのか考察します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>映画の上映の後は、各グループにわかれて、ディスカッションと発表を行います。日本における難民の受け入れ政策など、皆さんと一緒に考えていければと思います。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要 (国際交流・協力コース)

項目	国際交流・協力	対象学年	3年	場所	学習室1・2
テーマ	卒業の日を迎えて；予報の難しい21世紀の空模様				
講師	元神戸市外国語大学教授 和田幸子				
<p>講義内容</p> <p>カレッジでの生活を終えて見える世界は、3年前のものよりかなり異なって見えるでしょう。実際、地球環境は限りなく混沌としています。私たちはそれを紐解くことによって、シルバーの知見を集め、徐々に現在や未来の動きにも目をやる余裕ができてきました。「他のために」実行する事があるのはすばらしいことです。</p> <p>とはいえ、地球はますます狭くなり、そこには相変わらず熾烈な競争関係が生まれています。高齢化の流れは進行し独居世帯も増加するでしょう。でも、カレッジで培われた友情関係に支えられる私たちの周りには、いつも温かい風が吹きますように、ボランティア活動や社会的に必要とされる役わりを果たしたいと思います。本講義はそうした活動などの実態に触れるものです。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>3年間のシルバーカレッジでの学びを心に秘めながら、「他のために」何かができることに感謝したいですね。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	3年	場所	学習室1・2ほか
テーマ	留学生との交流授業				
講師	神戸大学留学生				
<p>講義内容</p> <p>神戸大学の留学生との日本語によるグループ別の懇談会で、留学生一人に対し、学生数10人未満の少人数による質疑応答形式により、交流を目的として行います。</p> <p>特にテーマは設けず、留学生の出身国・地域、大学での専攻学科などに関する留学生からのプレゼンテーションを受けて、スタートします。午前と午後で留学生が入れ替わり、例年若い留学生との約45分間（午前・午後とも）の楽しい会話が中心となっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 留学生による自己紹介 ② 各グループに分かれて指定された教室で交流Ⅰ ③ 昼休み ④ 午前とは別の留学生と指定された教室で交流Ⅱ ⑤ 交流Ⅱ終了後、学習室1・2に集合し、留学生及び学生による感想披露を意見交換 					
<p>コーディネーターからのメッセージ</p> <p>20歳前後の若い留学生との少人数による会話は毎年盛り上がったものになっており、これまでのイメージと異なる内容を学習することができるとともに、外国人と直接会話することの楽しさを実感できます。日本語での会話ですので、ご安心下さい。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（国際交流・協力コース）

項目	国際交流・協力	対象学年	3年	場所	日本・モンゴル民族博物館ほか
テーマ	校外学習（日本・モンゴル民族博物館ほか）				
講師	日本・モンゴル民族博物館学芸員、東井義雄記念館館長				
<p>講義内容</p> <p>兵庫県豊岡市但東町にある「日本・モンゴル民族博物館」と「東井義雄記念館」を貸切バスで訪問する。</p> <p>(1) 日本・モンゴル民族博物館</p> <p>日本とモンゴルとの国際交流を推進する施設で、モンゴル民族の文化を理解するうえで、重要な基礎コレクションをはじめ、モンゴル近代絵画や、チベット仏教コレクション、アジアの考古資料など、約1万点以上の資料を収蔵している。その展示手法としては、一方的に情報を与えるのではなく、楽しみながら学べる体験型博物館を目指している。</p> <p>(2) 東井義雄記念館</p> <p>同町出身の教育者である東井義雄氏の関係資料等を展示する記念館。同氏は“一番はもちろん尊い、しかし一番よりも尊いビリだっている”という言葉で知られており、特に、1959年に、広島文理大学（後の広島大学）から、近代教育の祖として敬愛されているスイスの教育者ペスタロッチにちなんだ「ペスタロッチ賞」を受賞している。</p>					
<p>コーディネーターからのメッセージ</p> <p>兵庫県内では、珍しい二国間の国際交流を推進し、地域おこしにもつなげている「日本・モンゴル民族博物館」の事業を学習することは有意義です。同時に、近くにある地元出身の教育者を顕彰する「東井義雄記念館」も訪問します。</p>					